

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成30年8月7日	使用開始日	
登録診療科	乳腺外科	申請医師	小西
レジメン名	パージェタ【初回】+トラスツズマブ【初回】+ハラヴェン		
疾患名	乳がん(HER2陽性進行再発乳がん)	適応の備考	HER2陽性の手術不能又は再発乳がん
適応分類	進行・再発		前治療として、アンスラサイクリン及びタキサンが投与されている患者が対象※
1コース日数	21 日間	総コース数	有効な限り コース 催吐性リスク 軽度
抗がん剤投与量・投与日 パージェタ注840mg、トラスツズマブ注8mg/kg day1、ハラヴェン注1.4mg/m ² day1,8			
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)			

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																				
	点滴静注		/	/																					
	ブライミシング用																								
2	主ルート	生食250mL	1 本 / body	●																					
	点滴静注	パージェタ注	840 mg / body	60 分	●																				
	投与時間(初回投与)60分、(2回目以降)30分可																								
3	主ルート	生食250mL	1 本 / body	●																					
	点滴静注	トラスツズマブ 注射用水100mL	8 mg / kg 1 本 / body	90 分	●																				
	投与時間(初回投与)90分、(2回目以降)30分可																								
4	主ルート	生食50mL	1 本 / body	30 分	●							●													
	点滴静注	デキサート注6.6mg	/	/	●							●													
5	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●							●													
	点滴静注	ハラヴェン注	1.4 mg / m ²	/	●							●													
6	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●							●													
	点滴静注		/	/																					

【投与上の注意】

このレジメンは、パージェタ、トラスツズマブ初回投与患者に使用する

・day1,8のデキサート注は、3.3mgでもよい。

パージェタ: 初回投与時間は60分。初回投与時の忍容性が良好であれば、2回目以降は30分まで短縮できる。

トラスツズマブ: 初回投与時間は90分。初回投与時の忍容性が良好であれば、2回目以降は30分まで短縮できる。

パージェタトラスツズマブ併用: 次回以降予定投与が遅れた場合、前回投与日から6週間未満の時はパージェタ420mg/bodyトラスツズマブ6mg/kgを投与する。

6週間以上の時は改めてパージェタ840mg/body,トラスツズマブ8mg/kgで投与。

※適応の備考欄の削除は、令和5年5月30日臨時倫理委員会で承認済み

【減量基準】

ハラヴェン投与にあたっては、以下の基準を参考に必要に応じて、投与を延期、減量又は休薬すること。

〈各サイクル1週目〉

投与開始基準下記の基準を満たさない場合、投与を延期する。

- ・好中球数: 1,000/mm³以上
- ・血小板数: 75,000/mm³以上
- ・非血液毒性: Grade2以下

減量基準前サイクルにおいて以下の副作用等が発現した場合、減量注)した上で投与する。

- ・7日間を超えて継続する好中球数減少(500/mm³未満)
- ・発熱又は感染を伴う好中球数減少(1,000/mm³未満)
- ・血小板数減少(25,000/mm³未満)
- ・輸血を要する血小板数減少(50,000/mm³未満)
- ・Grade3以上の非血液毒性
- ・副作用等により、2週目に休薬した場合

〈各サイクル2週目〉

投与開始基準下記の基準を満たさない場合、投与を延期する。

- ・好中球数: 1,000/mm³以上
- ・血小板数: 75,000/mm³以上
- ・非血液毒性: Grade2以下

投与再開基準投与延期後1週間以内に上記の投与開始基準を満たした場合、減量して投与する注)。

休薬基準投与延期後1週間以内に上記の投与開始基準を満たさない場合は、休薬する。

注)減量を行う際、次の用量を参考にすること。

減量前の投与量: 1.4mg/m² → 減量後の投与量: 1.1mg/m²

減量前の投与量: 1.1mg/m² → 減量後の投与量: 0.7mg/m²

減量前の投与量: 0.7mg/m² → 減量後の投与量: 投与中止を考慮

肝機能障害を有する患者に投与する場合は、減量を考慮すること。